

令和7年度 第2回 介護人材確保対策協議会 議事録(要約)

令和7年 7月28日
すこやかプラザ6階
研修室1
10時00分～12時00分

会議次第 保健福祉部長あいさつ
これまでの会議人材確保対策の状況等
第2回目（今回）の予定説明

協議会検討内容（要約）

1 福祉系を中心とした学生に対するイメージ戦略・魅力アップ
委員

- 学生をターゲットにするのは大切ですが、それだけではなく一般の求職者にも対象を広げたほうがいいのではないのでしょうか。
- もちろん、学生の中には高卒での就職希望もあるため、一定の効果があるかもしれません。
- イメージと一言にいいますが、若い人たちもやはりコストパフォーマンスを重視しており、給与月額・休暇日数・残業時間等をきちんとみています。
- また、若い人たちはたくさんの情報をスマートフォンで収集しており、他の職種と簡単に比較できるので、それを踏まえたうえで、他の職種よりもイメージアップさせる必要がありますね。

委員

- 入所施設としては、給与月額や休暇日数等の数値化できるところも、以前よりは良くなっていると感じますが、これを一般の方へアピールできるかとなれば難しいですね。
- イメージアップと言われれば、現在就労している方のやりがいや満足感、また利用者様から感謝されたりということなどが考えられますね。

委員

- 子供の進路相談に大きな影響があるため、同時に親御さんへのアピールも必要ですね。
- 介護職の給与できちんと生活していけるだろうか、さらに男の子の場合は、いい人と結婚できるだろうかと心配した結果、親御さんがブレーキになっている感じもありますね。

2 主治医意見書提出を病院からの郵便返送へ見直し

委員

- 様々な業務負担軽減策をとっていただき、ありがとうございます。押印廃止やペーパーレス化をはじめ、メールやファックスによる書類提出等も進めていただき、非常に助かっております。

委員

- 実際に、開始してから現場での混乱が生じないように、医師会だけでなく、介護支援専門員連絡協議会等とも事前の打ち合わせをしておいたほうがいいですね。

3 退職自衛官、元気高齢者の活用について

委員

- 介護職を応募したのですが、就労希望者は看護職が多く、うまくマッチングしなかった事例がありました。このあたりは、今後の検討課題と考えております。

委員

- 私たちが考える定年退職以外に、自衛官には任期制度があり27歳で任期終了する方がいますので、そういった方も対象に加えてはいかがでしょうか。

4 介護事業所における事務専任職員の配置について

委員

- 事務員補助も必要になると思いますが、どちらかというとは今は介護スタッフの方が不足していますね。
- もちろん事務職員が入れば、多少、介護スタッフの負担軽減になるかもしれませんがね。
- また、若い事務職員であれば、パソコンやICT等に慣れているかもしれませんね。

委員

- たとえば、事務作業といえば、管理者が「勤務表」などを作成しているかと思いますが、こういった書類は専門性が高いため、一般の事務職にどの程度まかせられるか難しいですね。

委員

- 今回、包括支援センターに事務職員の配置があったようにタスクシフトの考え方ですね。
- ただ、実際に現場でどこまでの範囲を任せていいのか難しいですね。本来は資格を持った専門職員の業務まで任せてしまって、後から指導監査課などからの指摘の対象になると本末転倒ですから。
- これを採用する場合、任せられる業務範囲については、市側で明示してほしいですね。

5 業務回線やICTへの事務的支援

委員

- 訪問介護事業所では、訪問の際にモバイル端末を持ち歩くため、通信費などの維持費がかかります。
- 端末導入については各種補助金を活用できたとしても、その後の維持費を別に考える必要がありますね。

委員

- 事務的補助もいいと思いますが、やはり直接的な金銭補助があったほうが、パソコンの導入なども含めて介護人材不足の解消になるのではないのでしょうか。

委員

- 若い人は、AI、介護ロボット、センサー等のICT関係には非常に興味・関心を示します。
- 働きやすい職場のためにテクノロジーを活用することは非常に大切だと思いますが、市から補助金というのはなかなか難しそうですね。

委員

- 大きい施設では、各種記録業務や介護報酬請求業務などはICT化が進んでいるイメージがありますね。
- しかしながら、在宅の訪問介護や通所介護単体の、いわゆる小規模事業所においては、スタッフの高齢化等もあり、なかなか進んでいないイメージですね。

6 その他（外国人材など）

委員

- 外国人の方も、多少は雇用につながっています。しかしせっかく雇用しても、他県で給与などの雇用条件のいいところがあれば、すぐにそちらに転職されるという話も聞きますね。
- 雇用するばかりでなく、その後の関係維持も必要ですね。

委員

- こちらの施設でも、1年間、外国実習生を雇用していました。
- 経費はかかりましたが、その間、かなり他のスタッフの負担軽減になりました。
- この経費についても、宿舎などの費用がもう少しなんとかなればいいのではないかと考えています。

委員

- 経費がかかるのは、仲介機関への経費もかかりますね。
- また、日本語検定の受験料も必要になります。

委員

- 若い人であれば奨学金の返済サポートも効果があるかもしれませんね。
- 結構、奨学金の利用者は多いです。返済をサポートして上げられれば、意外と若い人が佐世保市に残るかもしれませんね。

会長

- 本日も、みなさまから様々な意見を出していただきました。
- この中で、市役所に対応できるものについて、もう一度事務局で検討していただきたいと思います。
- 当然、市の財政状況も理解できますので、可能な範囲にはなるかと思いますが、次回の3回目までに事務局案をまとめていただきたいと思います。